

写
真
欄

① 政治姿勢

1%の市民革命

政治家に任せきりにするのではなく、まずはたった1%でも、市民が勇気を持って声を上げれば社会は変わります。「完璧な人間」だけが政治に参加するのではなく、あなたの隣にいる普通の市民が主役になれる政治を実現します。

② 外交・安全保障

安保法制の廃止・
立憲主義の回復

憲法を軽視した安全保障関連法制は直ちに廃止し、立憲主義を取り戻します。時の政権の解釈改憲を許さず、平和憲法の理念に基づいた、対話と協調による現実的な外交を推進します。

③ エネルギー

原発ゼロ・
自然エネルギー立国へ

原発依存からの脱却を明確にし、「原発ゼロ」社会を目指します。地域の自然資源を活かした再生可能エネルギーへの転換を進め、安全性と経済合理性を両立させた持続可能なエネルギー社会を構築します。

④ 地域・スポーツ

100年先を見据えた
「スポーツ文化都市」の創造

Jリーグ「100年構想」の理念に基づき、スポーツを単なる興行ではなく、地域コミュニティの核として位置づけます。多世代が交流し、心身の健康を育む「欧州型スポーツクラブ」のような文化をこの地域に根付かせます。

⑤ 公共事業

「解体までデザインされた」
公共施設のあり方

建設ありきの公共事業を見直します。スタジアムや大型施設は、数十年先の老朽化・解体費用まで計算に入れた持続可能な計画(ライフサイクルコスト管理)を義務付け、次世代に「負の遺産」を残しません。

さいたま市135万人の一人ひとりと政治を学び直したい。



⑥ メディア・情報

日本の人口1%
大手メディアの偏向なき
報道改革と「知る権利」

政治への無関心は、限られた情報の中で生み出されています。大手メディアの偏向なき報道を求めるとともに、インターネットを活用した一次情報の透明化を推進し、国民が正しく判断できる情報環境を整えます。

⑦ 現場主義

徹底した「現場主義」
～声なき声を届ける～

政治家が考えるべきは「政局」ではなく「あなたの生活」です。旧浦和・さいたま市で培ったネットワークを活かし、永田町の論理ではなく、生活の現場で起きている困りごとを国政へ直接届けます。

⑧ 教育・参加

政治の「学び直し」と
主権者教育の充実

「難しい言葉」で政治を遠ざけません。10代や若者が選挙に参加しやすい環境整備(受験期の選挙日程の見直し等含む)や、学校教育における主権者教育を強化し、誰もが政治を自分の事として考えられる社会を作ります。

⑨ 経済

さいたま発・「生活第一」の
地域経済循環

物価高対策を最優先し、生活者の視点に立った経済対策を行います。大企業優先のアベノミクスから転換し、地域の中小企業や商店が潤い、地元でお金が回る「地域循環型経済」を確立します。

⑩ 多様性

同調圧力に屈しない、
個が尊重される社会

「周りの目」や同調圧力によって、言いたいことが言えない社会を変えます。多様な生き方や価値観が尊重され、誰もが自分らしく生きられる、寛容で風通しの良い日本を目指します。

羽
は
田
だ
樹
じ
無所属
37歳
—

さいたま市特化メディア
「GLOCAL SAITAMA CITY」編集長